

「僕たちはそれをデベロップメントと呼ぶ」 というだけの話

2023/09/07

株式会社 PHONE APPLI
プロダクトデベロップメント本部 マネージャ
松山 大
E-mail : dai.matsuyama@phoneappli.net

今回の発表は「品質保証（Quality Assurance）」という言葉についての発表となります。

そのため、発表内では「品質保証(QA)」という言葉を確認に分けて使うために下記の用語を定義しております。

【品質活動】

品質にまつわる業務全般について「品質活動」という言葉を使っています。

また、品質保証という広く深い概念に対しての発表のため、発表時間の制限もあり、ややイメージを誇張していると感じられる部分があるかもしれませんのでご了承ください。

1. 自己紹介
2. 変化と気づき ①～③
3. こんなことはありませんか
4. 芽生えた思い
5. 解答編
6. 最後に

自己紹介

•経歴

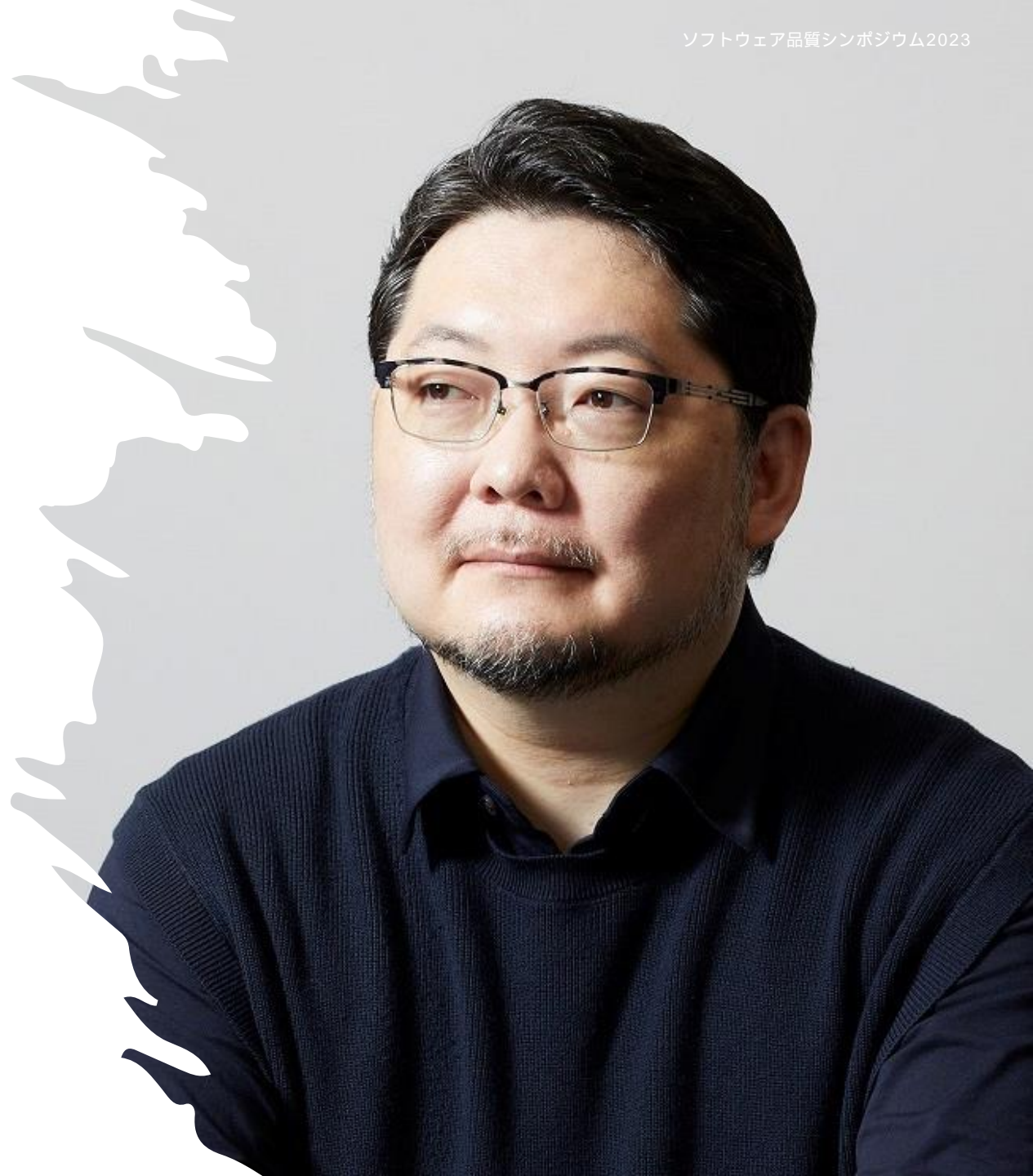
15年以上第三者検証会社で様々な現場を経験。
その経験を活かし2019年末から現在の会社の一人目の品質活動エンジニアとしてJoin
品質活動チームの立ち上げを経て、マネージャ
としてチームのフォローを行っています
自分を一言で表すならばテストエンジニアです

•検証経験

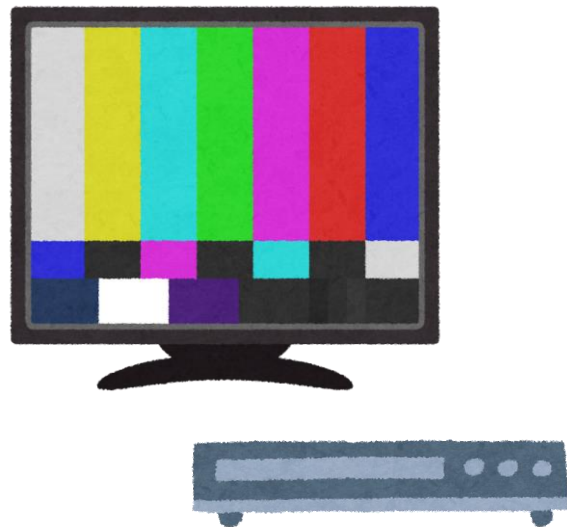
AV家電、デジタルカメラ、ECサイト、ネット予約系サービス、検索サービス、映像配信サービスなどなど
小規模から大規模、様々な組織体制と開発プロセスも経験

•趣味

映画鑑賞と漫画、この仕事も半分趣味



2000年初め頃～



- メディアプレイヤー
- デジタルテレビ
- デジタルカメラ
- Etc

まだネットワーク機能などはあつたりなかったり、機器のバージョンアップはディスクやメモリーカードなど
買い切りのビジネスモデル



第三者検証会社
エンジニア時代



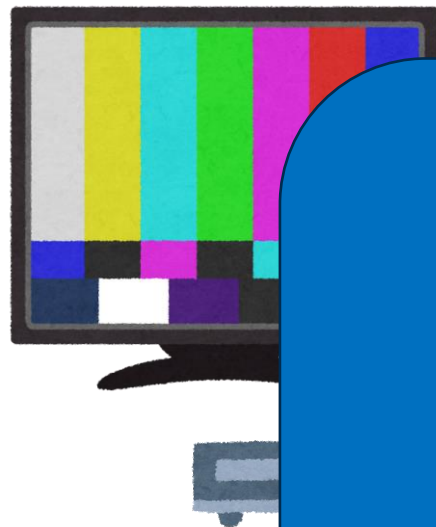
2010年頃～



- ネットワーク機能付きデバイス
- 上記が対象のウェブサービス (toC)
- スマートフォン、アプリ
- Etc

始めのころはガラパゴスな状況、アップデートはネットワークだけどユーザー認知度はまだ低めだった

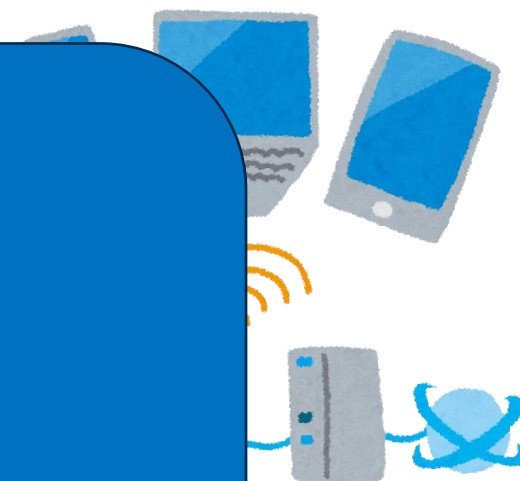
2000年初め頃～



- メディアプレイヤー
- デジタルテレビ
- デジタルカメラ
- Etc

まだネットワーク機器は
り、機器のバージョンアップは
リーカードなど
買い切りのビジネスモデル

2010年頃～



クラウド機能付きデバイス
のウェブサービス

オン、アプリ

多様なガラパゴスな状況、
アップデートはネットワークだけど
ユーザー認知度はまだ低めだった

変化と気付き ①

• 業界

• 品質に対する考え方は変わ
るということ

2010年頃～



- ネットワーク機能付きデバイス
- 上記が対象のウェブサービス (toC)
- スマートフォン、アプリ
- Etc

いわゆるウェブ系の走りはじめ
始めのころはガラパゴスな状況、アッ
プデートはネットワークだけどユー
ザー認知度はまだ低めだった



第三者検証会社
エンジニア時代



2015年頃～



- ウェブサービス
 - スマートフォン向けアプリ
- スマートフォンが当たり前になり始めのころ
まだインターネットと言えばパソコンが主流

2010年頃～



- ネットワーク機器
- 上記が対象のクラウドサービス (toC)
- スマートフォン
- Etc

いわゆるウェブ系のサービスが主流で、始めのころはガラパゴスな状況、アップデートはネットワークだけドユーザー認知度はまだ低めだった

2015年頃～

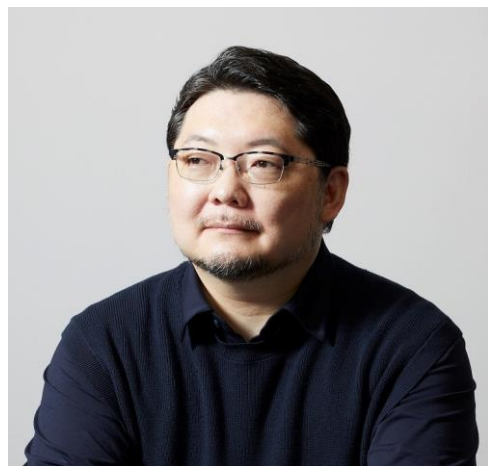


ビジネス
スマートフォン向けアプリ
が当たり前になり始
ネットと言えばパソコ

変化と気付き ②

- スピード感 (プロセス)
- 品質自体の多様性

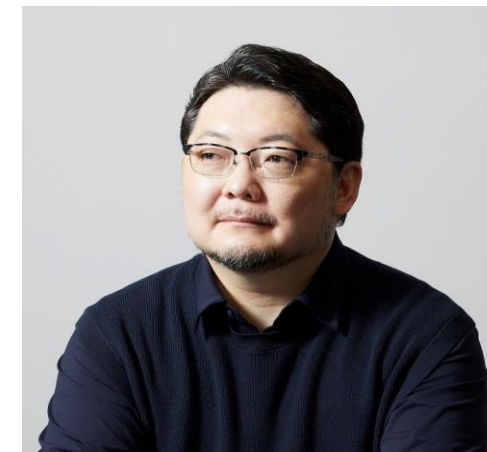
2015年頃～



第三者検証会社
エンジニア時代



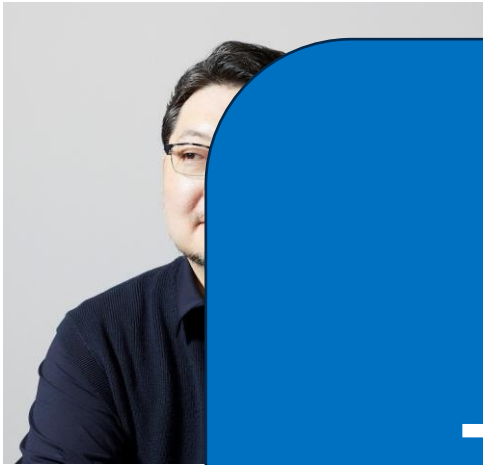
2020年頃～



自社QAチーム
マネージャ

2015年頃～

2020年頃～



第三者
エンシ

ーム

変化と気付き ③ プロダクトと自分の関係性 品質と自分の距離感

「品質を保証する」とは
何をすればよいんだろう

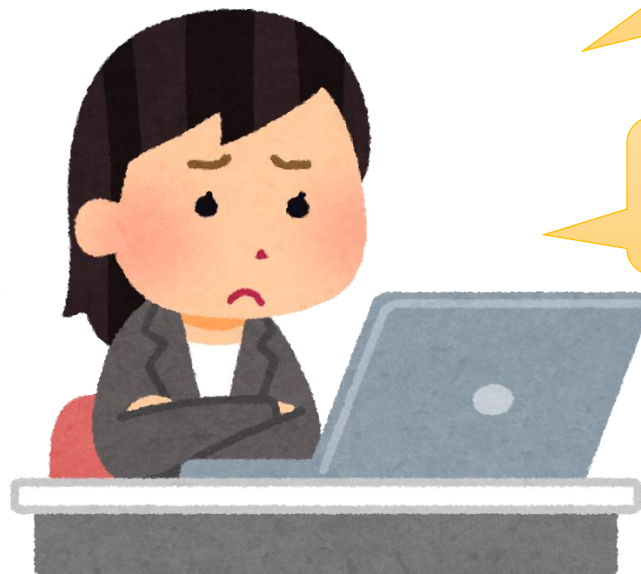
自分たちの組織にとって「品質保証」とは
どのようなことだろう

どうなったら、「品質を保証した」っ
て言えるんだろう

誰に対しての「品質保証」なんだろう

そもそも、品質って保証できる
のかな

品質が保証できるとどういう良いこと
があるんだろ（成果とか）



・・・品質ってなんだっけ？

品質担当者



組織内の誰か

品質ってどうやって保証しているの？

エビデンス

開発プロセスの最終関門（ゲートキーパーとか）としての役割を

テスト

「品質保証」の観点が欲しい

ナレッジ

品質活動チームの成果は？

定量的な何か



品質担当者

様々な品質保証の形（定義や考え方）がある



松山大



外から見ると、デフォルトで品質を保証する人たちの
イメージから始まる

※保証する：間違いなく大丈夫だと請け負うこと



松山大



周りの人たち

外から見ると、デフォルトで品質を保証する人たちの
イメージから始まる

※保証する：間違いなく大丈夫だと請け負うこと



松山大



周りの人たち



何をどのように、どれほどやったとしても
「品質」が間違いなく大丈夫だって言える日は来ない気がしてきた！



何をどのように、どれほどやったとしても
「品質」が間違いなく大丈夫だって言える日は来ない気がしてきた！

あくまで、私たち独自の見解です

自分たちがやりたいと考えていることと
周りからの期待値をすり合わせた定義を考えた



松山大



周りの人たち

自分たちがやりたいと考えていることと
周りからの期待値をすり合わせた定義を考えた



松山大

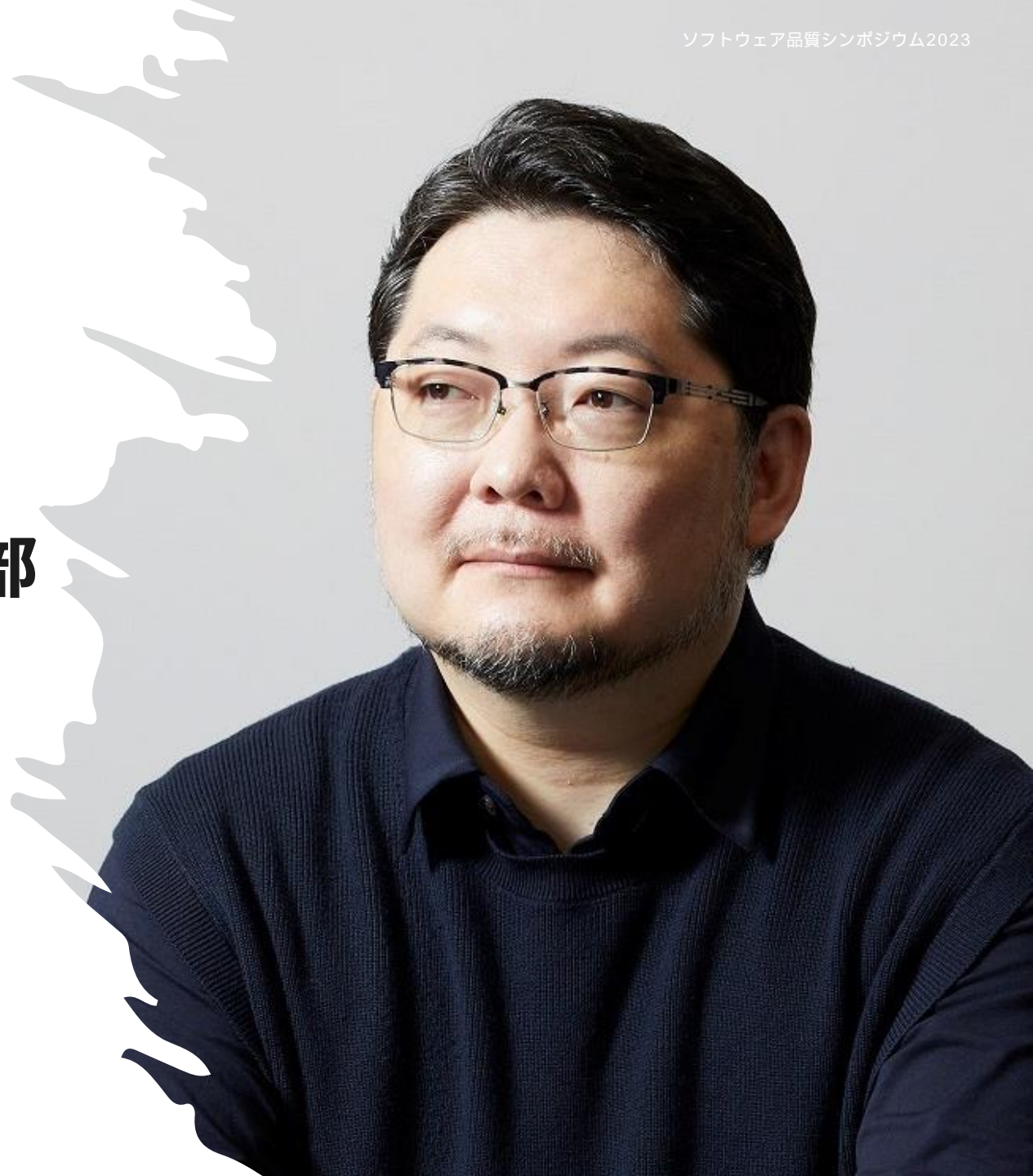
私たちは
Quality
Development
です！



周りの人たち

自己紹介②

株式会社 PHONE APPLI
プロダクト開発本部
クオリティ開発本部
マネージャの松山です



自分たちの行動を表せて、かつ周りの人に伝えやすい言葉として「**Quality Development (QD)**」という定義で活動をし始めました。

弊社社内での定義

QDとは

- 常にQualityを考え、発展させていく

QDエンジニアとは

- QDをしていくために何が必要かを考え、文化として広めていく
- Qualityと速さとコストのバランスを常に意識する
- 和と流れを大切にし、全方向へ積極的に「対話」を行っていく

呼び方

- クオリティデベロップメント
- キューディー
- キューデブ



(一部抜粋、部署内だけでなく全社展開)

メリットだと感じていること

- 品質保証という概念からの様々なプレッシャーや束縛からの解放
 - 品質保証やQAという定義について、自分たちの活動に合わせて成形したり、活動を調整したりしなくて良い
 - 自分たちにとっての品質保証を説明しなくて良い
- 保証してくれる人たち（テストしてくれる人たち）がいるのではなく、自分たちで品質を作り込むという攻めの意識
 - 最後の砦とかゲートキーパー的な立ち位置にならない
- 開発と品質保証というような二極対立にならない

課題など

- まだ実業務的な定義として開発部内に留まっている
- 詳細なプロセスや、タスクの定義などが明確にできていない
- 品質保証や品質管理などとのすみわけについて明確にできていない
- QDという概念が受け入れられやすい条件がありそう
- 本末転倒ですが、当然のことながらQDという言葉の認知度は無いので、現状は外部の人と会話する際にQDについて説明が必要になっている。

さいごに

本日社外でQDという概念について発表した最初のイベントとなります。

今後あちこちでこの話をしていきたいと考えています。

QDという概念は、QA（品質保証）や品質管理などと入れ替わっていくものではなく、

あくまで選択肢（オプション）の一つだと感じています。

興味を持っていただけましたら、ぜひ忌憚のない意見交換や情報共有させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。



QD文化元年
QDという文化をつかっていこう



ご清聴ありがとうございました

「働く」を変える。「生きかた」が変わる。

PHONE APPLI